

大阪市立東三国中学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】  
実施報告書（補足説明資料）

本校では、「令和元年度における校内アンケートで『授業がわかりやすい』と答える生徒の割合を全体の 73%以上にする」、「第 2 学年において漢字検定受検にむけ取り組み、生徒の学習意欲向上と自信につなげ、基礎学力定着の一助とし、漢字検定の合格率、全国学力・学習状況調査における漢字正答率を向上させる」を年度目標とし、年度目標に応じた事業効果を測る指標として、「漢字能力検定受検に向けて、演習問題を配布し演習させる。漢検合格率を昨年度より向上させる」ことを設定した。

上記を達成するために、以下の 1 つの取組を行った。

## 1. 取組内容（1）について

### 1－1. 取組を実施する必要性

淀川区学力向上支援事業「漢字名人育成計画」の活用し、中学校 2 年生を対象に漢字能力検定受検に向けて、学習に取り組むことで、学習意欲を高め、基礎学力向上の一助とすることができる。

### 1－2. 取組を実施することにより期待できる効果

第 2 学年において漢字検定受検にむけ取り組み、生徒の学習意欲向上と自信につなげ、基礎学力定着の一助とし、漢字検定の合格率、全国学力・学習状況調査における漢字正答率を向上させることが期待できる。

### 1－3. 具体的な実施内容

#### ①漢字の演習問題集の活用

漢字能力検定受検に向けて、演習問題を配布し演習させる。漢検合格率を昨年度より向上させる。

### 1－4. 取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

区の支援を受け、第 2 学年において 1 月末に漢字検定受検を実施した。校長経営戦略加算予算で漢検問題集を 200 冊購入し、検定合格をめざして取り組みを行った。生徒の習熟に応じて級数を選択し取り組み、基礎学力定着の一助となった。高校レベルの受検をする生徒も 1 割あり積極的に学習に向かう姿勢が伺えた。漢検の合格率は 68.8%となり、昨年を大きく上まわった。高校レベルの準 2 級では 75%の合格率だった。

以上の成果から、A 評価とした。

## 2. 総論

### 2－1. 年度目標の達成状況、総評

漢検の合格率は、昨年度から大幅に向上した。演習問題集を一人一冊持たせて、受検をする意識をしっかりと持たせ、漢字検定に向けた学習に取り組ませることができた。

以上の結果から、年度目標に対する達成状況を「A」評価とした。

## 2－2．学校協議会における意見

本年度の学校の自己評価結果は妥当である。具体的な施策に取り組み、課題を明確にしながら、適切な教育活動が行われ成果をあげてきている。

